

新型コロナウイルスの流行を踏まえた心肺蘇生法

※新型コロナウイルスが流行している状況では、すべての傷病者に感染疑いがあるものとして対応しましょう。

① 安全確認

自分がマスクを正しく着用できていることを確認する。

② 反応の確認

※あまり顔が近づきすぎないように注意！

※反応がない場合や、反応があるかないかの判断に迷う場合、またはわからない場合は心停止の可能性もある



「大丈夫ですか」又は「もしもし」と大声で呼び掛けながら、肩をやさしくたたき、反応があるかないかを見ます

③ 119番通報とAEDの手配・通信指令員の指導に従う



誰か来て！！
119番通報！
AED持ってきて！

倒れている人の反応がない、又はわからなければ「誰か来て！」と大声で応援を求めて、119番通報を依頼して、AEDがあれば持ってくるようにお願いします
心肺蘇生の方法等を電話で指示してくれるので、電話をつないだまま指示に従ってください
通報に使用した電話にスピーカー機能があれば活用する

④ 呼吸の確認（呼吸がないか普段どおりでない・判断に迷う場合は心停止と判断）

※あまり顔が近づきすぎないように注意！



胸とお腹の動きを観察して呼吸を確認します（10秒以内）
呼吸がないか普段どおりでない、判断に迷う場合は心停止と判断します
心停止直後には、しゃくりあげるような不規則な呼吸がみられることがあります
これは心停止のサインであり「呼吸なし」と考えて次に進みます

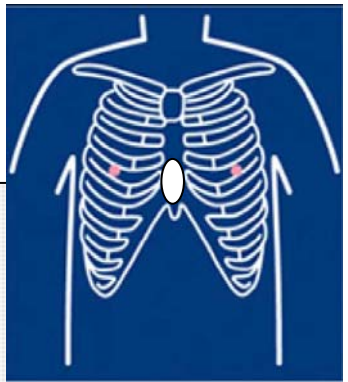
⑤ 胸骨圧迫（できるだけ早く開始）



※胸骨圧迫に伴うウイルスを含んだ微粒子の浮遊を防止するため、倒れている人の口と鼻にハンカチやタオルなどをかぶせる。マスクや衣類などでもOK！

圧迫位置は胸の真ん中

- ・強く（約5cm沈むまで 小児は胸の厚さの1/3）
- ・速く（1分間に100～120回のテンポで）
- ・絶え間なく（中断を最小にする）
- ・圧迫と圧迫の間（圧迫を緩めるとき）は、十分に力を抜き、胸が元の高さに戻るようにする



⑥ 気道確保・人工呼吸2回

※成人（15歳以上）に対しては、人工呼吸は行わない！胸骨圧迫のみ実施！

※小児に対しては、講習により技術を身につけていて、人工呼吸を行う意思がある場合には実施してよい（感染防護具の使用を推奨）。



片手で額を押さえ
あごの先端を持ち上げる



胸が上がるのが見えるまで
約1秒かけて2回吹き込む

⑦ 胸骨圧迫

胸骨圧迫を絶え間なく続ける。

交代可能な場合には、疲労により胸骨圧迫の質が低下しないように、1～2分間を目安に交代することが望ましいが、交代による中断時間をできるだけ短くする。

※ 心肺蘇生実施後の対応

※救急隊に引き継いだ後は、速やかに石鹸と流水で手と顔を十分に洗って下さい。

※手を洗うか消毒するまで不用意に首から上や周囲を触らない。

※倒れている人の口や鼻にかぶせたハンカチやタオルは、直接触れないようにして破棄する。

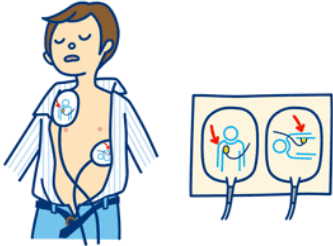
AED（自動体外式除細動器）

① スイッチ ON



AED が到着したらすぐに電源を入れます。機種によっては、AED のフタをあけると自動で電源が入るものもあります

② パッドを貼る



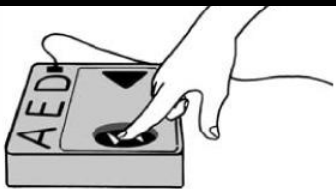
倒れている人の衣服を取り除き胸をはだけます
AED のケースに入っている電極パッドの 1 枚を胸の右上に、もう 1 枚を胸の左下側の素肌に直接貼り付けます
電極パッドを貼る間もできるだけ胸骨圧迫を続けます

③ 心電図解析（必ず体に誰も触れていないことを確認）



「離れてください。心電図の解析中です」
との音声メッセージとともに、AED が自動的に解析を始めます

④ ショックボタンを押す（必ず体に誰も触れていないことを確認）



電気ショックが必要な場合は「ショックが必要です」と音声でその必要性を教えてください
周囲の人が倒れている人に触れていないことを確認して、ショックボタンを押します

⑤ 胸骨圧迫再開

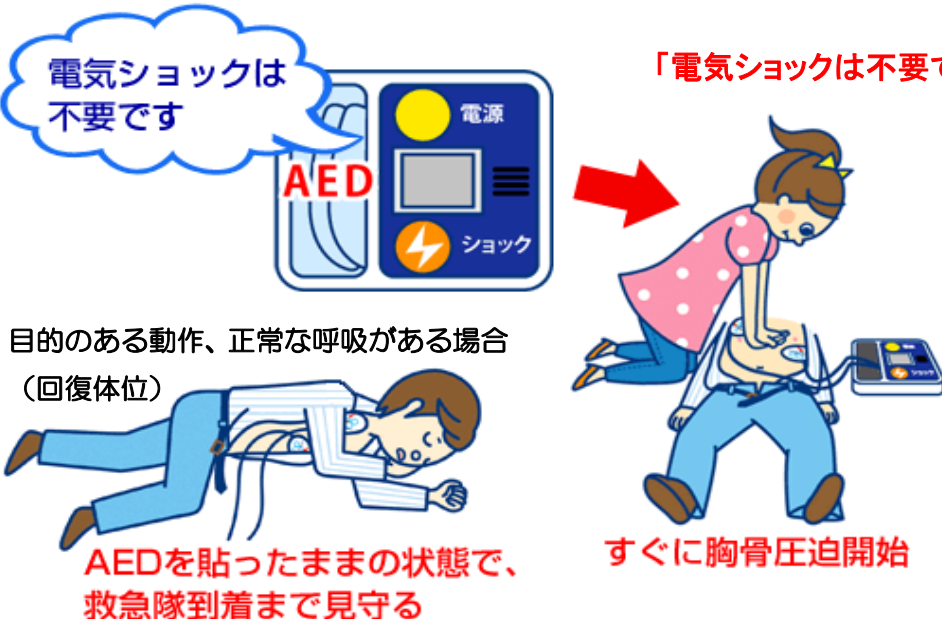


電気ショックの後は直ちに胸骨圧迫を再開します。AED の指示に従い、約 2 分おきに心肺蘇生と AED の手順を繰り返します

注意：AED のパッドは救急隊が到着するまで貼ったままにしておいて下さい
また AED の電源も切らないで下さい

AED が除細動は不要ですと言ったら？

AED が「電気ショックは不要です」と指示してきた時、倒れている人に反応、正常な呼吸がなかったら、必ず胸骨圧迫を行って下さい。心停止には、電気ショックの適応となる「心室細動」と呼ばれる心臓のけいれん（こまかくふるえている状態）によるものと、適応でないものがあります。AED はこの電気ショックの適応の有無を自動的に判断してくれます。電気ショックが必要でない場合、「電気ショックは不要です」と指示をします



子どもも同じでよいですか？

パッドには、小学生～大人パッドと未就学児パッドの 2 種類があります。小学校に上がる前の子どもには未就学児パッドを使用してください。AED の機種によって、パッドは 1 種類で小学生から大人モード、未就学児モードに切り替えるものもあります。

目的のある動作、正常な呼吸がある場合
(回復体位)

AED を貼ったままの状態で、
救急隊到着まで見守る

すぐに胸骨圧迫開始